



提供：JAXA  
JAXA 宇宙科学研究所 國中所長  
当社橋田常務取締役(右)



贈呈された感謝状

## 宇宙航空研究開発機構様より感謝状をいただきました

11月1日、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)相模原キャンパスにて、相模原キャンパス移転30周年の記念式典が行われ、感謝状をいただきました。これは、1989年5月に東京大学駒場キャンパスから相模原キャンパスに移転して30年が経ち、節目を迎えるにあたって地元住民の皆さまならびに関連団体・企業へ感謝状が贈呈されたものです。

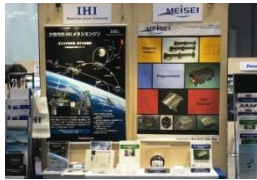
当社は、宇宙科学研究所(相模原キャンパス)が打ち上げた小惑星探査機「はやぶさ」をはじめ、数々の科学衛星に搭載された観測装置を納入しています。

明星電気はこれからも宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



当社社員による講演



IHIグループ展示ブース

## 「第63回宇宙科学技術連合講演会」にて講演・出展

11月6日から8日まで、徳島市にて開催された「第63回宇宙科学技術連合講演会」(宇科連)で2件の講演を行うとともに、IHIグループとして出展しました。宇科連は、日本最大の宇宙分野の学会として、産学官の宇宙開発関係者が集い毎年開催されています。

当社は、「革新的衛星技術実証1号機搭載 粒子エネルギー spektrometer (SPM)の軌道上実証結果」および「革新的衛星技術実証2号機搭載予定 高機能CubeSat用搭載コンピューター(OBC)の軌道上実証」について講演しました。また、展示ブースにはJEM自律移動型船内カメラInt-Ballおよび講演の内容に合わせてSPMを展示しました。会期中は研究者、大学関係者、学生、官公庁などの幅広い世代・職種の方がブースを訪れ、多くの関心が寄せられました。

これからもこのような機会を活用して、明星電気の技術力を積極的にアピールしていきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



iMS-100のパネルと実機

## 「DSEI JAPAN(防衛・セキュリティ総合展示会)」に出展

11月18日から20日まで「DSEI JAPAN」が幕張メッセにて開催されました。

DSEI JAPANは、日本で初めて開催される防衛・セキュリティ総合展示会となり、国内のほか北米・欧州から約175団体が出展しました。災害対策機材・護衛艦・戦車等が展示されており、日本の防衛産業とグローバル市場との交流・情報共有などを目的としています。

当社はIHIグループとして参加し、部隊運用に役立つ気象観測用GPSラジオゾンデiMS-100の実機とパネルを展示しました。防衛大臣・副大臣・自衛隊・防衛装備庁・民間の方々や、海外の大使館職員・軍関係者がIHIグループブースを訪れ、iMS-100の計測範囲・観測可能時間などの質問があり、防衛分野における気象観測データに対する関心の高さが感じられました。

これからもさまざまな場面で明星電気の製品を紹介していきます。

(担当:気象防災事業部、宇宙防衛事業部)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。